

病児保育園 令和3年 3月号

セカモゲ通信

世界ちゃんとモゲル丸先生の元気なクリニック

暖かい日が続いたと思えば、寒い日が続いたりと寒暖の差が激しく、体調管理が難しい季節ですね。季節の変わり目は体調を崩しやすくなります。その日の天気や気温に合わせて衣服を調節したり休息を取りながら過ごしていきたいですね。

3月3日はひな祭り。女の子の無事な成長・良縁・幸せを願う行事です。セカモゲでもお雛様を作ったり、ぬりえをしたり製作を楽しみました。

一緒に飾る桃の花には、古来中国には魔除けの力があるとされています。菱餅やお雛あられの色も、紅(花が咲く)白(雪が溶ける)緑(新芽が芽吹く)と87春の訪れを喜ぶ意味があるようです。

蕨 de 雛あられ

- ☆材料☆
 蕨(手まり麩)……10g
 砂糖………大さじ1
 水………小さじ1

☆作り方☆

- ①フライパンに砂糖と水を入れて火にかける
- ②砂糖が溶けてふっつしてきたら手まり蕨を入れて、表面が白くなるまで転がしながら加熱します。
- ③器に盛りつけて完成!



～令和2年度のお礼とお願い～

病児保育園セカモゲも開園して1年が経ちました。たくさんの方にご登録、ご利用いただきありがとうございます。来年度も保護者の方々のご要望等に少しでも多くお応えし、働くお父さん、お母さんのお手伝いができればと思います。

4月より登録用紙が令和3年度のものに切り替わります。セカモゲHPまたは岐阜市役所HPよりダウンロードいただくか、セカモゲに直接お越しください。



子どもの花粉症

2～3歳で花粉症にかかるお子さんがめずらしくなくなりました。10歳以下で花粉症になる子は花粉への感受性が高いので、大人になってから花粉症になった人よりアレルギーが重たいといえます。治療しないままでの成長とともに重症化するリスクが高く、他のアレルギーの病気にもかかりやすくなってしまいます。スギ花粉症の舌下免疫療法などアレルギーの根本治療法の保険診療も始まっています。好きなことや勉強に思う存分取り組めるように適切な治療をしてあげましょう。

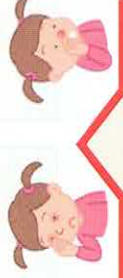
かゆいにや～



子どもは目の症状も出やすく、頻繁に目をこすったりします。その他にも目の充血や目のまわりのむくみなどもよくみられます。

鼻がムズムズするの、こすったり、かいたり、鼻をピクピク、口をモグモグして鼻や口のまわりをしかめたりします。また鼻をいじり過ぎて、鼻血を出すこともあります。

こんなときは花粉症の合図かも…



なるほどにや～

子どもの場合はくしゃみが多量に出ずに、鼻づまりが多い傾向にあります。サラサラした鼻水より少し粘っこい鼻水が出やすいからです。しかし、鼻づまりは見ただ目ではわかりません。見分けるポイントとしては、口をあけているかどうかです。鼻で息がしづらくなっているため、口呼吸が多くなってしまいます。

モゲル丸



今月のお知らせ

3/25、26クリニック休診の為、休園させていただきます。コロナウイルス第3波流行のため、1月より毎週土曜日を定期消毒日とし、受け入れ制限をさせていただきます。ご理解、ご協力をお願いいたします。



セカモゲ★インスタ



BYDJISEHAMOGE

セカモゲ

病児保育園
 〒500-8358 岐阜県岐阜市六条南2丁目8番20号
 TEL058-216-3745 FAX058-216-3751